

Weekly Report

2023-24



世界に希望を生み出そう

創立 / 1965年6月25日
 例会日 / 毎週木曜日 PM12:30~
 会場 / 江南商工会館1F大ホール
 江南市古知野町小金112
 0587-54-8132

事務局 / 江南商工会館別館1F
 TEL / 0587-55-6554
 FAX / 0587-59-7720
 URL / <http://www.konan-rc.com/>
 Mail / konanrc@beach.ocn.ne.jp
 会長 / 富田清孝 幹事 / 木本寛 会報委員長 / 山崎博征



2023年(令和5年) 7月 13日(木) 雨 第2768回(当年度第2回)例会

点 鐘
 司 会

ロータリーソング斉唱
 四つのテスト斉唱

会長 富田 清孝君
 SAA 濱島聡一郎君
 「それでこそロータリー」
 佐藤 弘夫君

— 言行はこれに照らしてから —

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

ゲスト及びビジター紹介



岩倉ロータリークラブ 会長 深石 公彦様



幹事 深見 早恵様

ようこそ江南ロータリークラブへ！

会長挨拶



会長 富田 清孝君

こんにちは、12日の火曜日に岩倉ロータリーさんに挨拶に行っていました。お座敷例会と言うことで大変和やかに例会が進められ、和室の例会もなかなかいいもんだと思いました。ただ少し足が痛くなりました。岩倉ロータリーの会長、幹事さんありがとうございました。後程ご挨拶をお願いいたします。

また、先日のヤナドライブには多くの会員の方に参加して頂き、ありがとうございました。あいにくの雨ではありましたが匂の鮎を堪能できたのではないのでしょうか。現地のヤナで熊澤さんの家族と合流するはずでしたが熊澤さんが遅れて来られたので実際には合流できず、私たちが食べ終えヤナを出た後に熊澤さんがみえたのですれ違いの状態でした。

ただ、その時に熊澤さんのお隣に座っておられたご家族のお話からのエピソードがとても印象に残ったので皆様にもここで改めてお話をさせて頂きたいと思います。

対話調にて失礼します。

奥様「来年も皆でこのこの時期に鮎を食べに来ようね。」

家族「そうだねー。」

お爺さん「わしゃ来年は天国だわー。」

奥様「なかなか天国にはよんでもらえんよー。」
 というやり取りがあったその数分後に、お爺さんは意識不明になられて、応急処置したり救急車呼んだりしてバタバタしていたそうです。

その後お爺さんはどうなったかわかりませんが亡くなったにしても幸せな死に方だと思います。私の父は亡くなって十数年たちますが、死に際には家族全員に看取られた状態でした。

その時みてもらっていた近所の内科の先生は、とても幸せな死ですと言われました。その一言で家族全員の心は救われたような気がしました。死んでいくことは寂しいし、死に方を選ぶことはできないかもしれませんが、幸せに生きていくと言うことは残された家族にとって大事なことだと思いました。

それでは今日も宜しくお願いします。

ゲストご挨拶



岩倉ロータリークラブ 会長 深石 公彦様

幹事報告 -別紙- 幹事 木本 寛君

祝 福 親睦活動委員長 中村 耕司君

出席報告 委員 伊藤かね子君

会員数	出席者数	欠席者数	出席率
48名	34名	14名	75. 56%

ニコボックス 委員 伊藤かね子君

○本日、お世話になります。宜しくお願い致します。

岩倉ロータリークラブ会長 深石 公彦様

○本日はお招きいただきありがとうございます。宜しくお願い致します。

岩倉ロータリークラブ幹事 深見 早恵様

○委員長の皆様、委員会年間行事計画の発表をお願いします。

富田 清孝、波多野 智章、木本 寛、三輪 慎一郎君

○ロータリー財団常任委員会の発表をさせていただきます。宜しくお願い致します。

沢田 昌久君

○本日親睦活動委員会の年間行事計画発表をさせていただきます。1年間宜しくお願いします。

中村 耕司君

○本日 SAA の年間行事計画を発表させていただきます。

濱島 聡一郎君

○本日、米山奨学会委員会の年間行事計画を発表させていただきます。

近藤 道磨君

○本日、例会運営委員会の年間計画を発表させていただきます。1年間よろしくお願い致します。

佐藤 弘夫君

○富田年度の各委員長、年間行事計画の発表よろしくお祈いします。岩倉ロータリークラブ会長深石公彦様、幹事深見早恵様ようこそ、江南ロータリークラブへ！

伊藤鶴吉、倉知 正憲、松岡 一成、古田 嘉且、杉浦 賢二、長瀬 晴義、南村 朋幸、岩田 進市各君

卓話

「本年度の目標及び方針計画発表」



SAA 委員長 濱島 聡一郎君

SAA の濱島です。

副 SAA の佐藤弘夫さん、早川一三さんとともに、一年間皆様のご協力をいただきながら円滑な例会の進行を心がけていきたいと存じます。

5月の例会におきまして、地区研修協議会の報告をさせていただいた際に抱負などもお伝えさせていただきましたので、本日は発表人数の関係上簡単なご挨拶にさせていただきます。

先回の繰り返しになりますが「例会は親睦と学びの場」という目標のもと、例会運営委員会と連携しながら毎回の例会を進めていく所存であります。事業計画の詳細はクラブ計画書に記載の通りですが、こちらはほとんど例年と変わりはありません。目に見える形としてではなく、親睦や学びが自然に作り出される例会場の雰囲気を作ることに力を注いでいきたいと思ひます。

私の勝手な解釈ですが、SAA という職務の重要性は例会の開始までに細かい部分まで目を配り、例会が始まってからは次第に記載された事項を当たり前のように、肅々とこなして事に尽きると考えております。

そして例会に必ず出席をするという部分においても、事前に自分の予定を調整しておくことの重要性を改めて感じております。できる限り副 SAA のお二人の力をお借りせずに一年間職務を全うできるよう、体調管理にも万全の注意をして頑張りたいと思ひます。

何卒ご協力をお願いいたします。



例会運営委員会 委員長 佐藤 弘夫君

本年度、例会運営委員長を務めさせていただきます佐藤弘夫です。1年間よろしくお願い致します。

私は、2020年の12月に入会させて頂いていますが、年は取っていますが、まだ2年半しか経験していません。

入会したての頃は、コロナで例会が中止になったり、ロータリーについても勉強不足で、よく理解できていない中で、最初は、ニコボックスの担当で、次の年もニコボックスの担当でした。前回は会報委員会の担当でしたが、まだまだロータリーについて、よくわかっていませんが、役を仰せつかった以上はその役割をキッチリと果たしていきたいと思っています。

メンバーは、副委員長の早川一三さん、委員の田中健さんは設営及び音響担当をして頂き、近藤道磨さん、伊藤かねこさんのお二人は出席、ニコボックスを担当して頂き、5名で活動していきます。特に唯一の女性会員の伊藤かねこさんは、女性活躍やダイバーシティ(人材の多様性)の面からも当委員会のイチ押しポイントとなるように期待するところです。また、SAAの濱島聡一朗さんとも連携を密にとりながらやっていきたいと思えます。

例会運営委員会の基本計画は、これまでと大きく変わるところはありませんが、重点ポイントは2つあります。

例会は、「親睦と学びの場」と言われておりますので、机の配置は今まで通りですが、座席につきましては月1回ですが「クジ引き」で決めさせていただきます。これは、コロナ前にやっていたことを復活する形ですが、いろいろな方々と交流が図れるような雰囲気になりたいと考えています。

次に食事の件ですが、いろいろ経営状況が厳しい中、前年に引き続きラ・カーサさんをお願いすることができました。SDGsの12番目の目標である「つくる責任、つかう責任」にある「食品ロス削減の取組み」を強く意識して、世界の目標達成を我々の身近な暮らしから実現するために、『無駄のないお弁当の手配』をテーマとし、地道ですが例会の出欠席の確認をしっかりとやるのが重要と考え、受付デスクに出欠席表を設置し、更に回覧しますので、必ず記入をするようにご協力をお願い致します。記入していない方々については、こちらから確認することもありますので宜しくお願い致します。また、△の人や変更の人は、できれば火曜日までに事務局へ連絡をして頂けると助かります。以上のことに重点を置きながら、例会運営をしていきますが、皆様のご理解とご協力を賜り、楽しい例会運営に努めて参りたいと思っておりますので宜しくお願い致します。



親睦活動委員会 委員長 中村 耕司君

本年度の親睦活動委員会は副委員長に沢田昌久さん、委員に熊澤治夫さん、岩田静夫さん、田崎健一郎さん、横山史明さん、と私中村耕司の6名で担当させていただきますのでよろしくお願い申し上げます。

委員会メンバー6名は、本年度の委員会では最大人数を擁しております。

富田会長から親睦活動委員長の依頼を受けた際に、「ロータリーは親睦が重要だ。特に入会間もない会員さん~~を~~交えた親睦活動に注力したい。」と特別な思いをお聞きし、富田会長のクラブ親睦へかける熱い思いを感じました。

そこで具体的には、「行こまい会」と銘打って、楽しそうで忙しくても参加したくなるような親睦活動を企画し、入会数年以内のロータリー歴が比較的短い会員の都合を優先した開催日程で、5~6回開催します。

既に7月9日に鮎のやな(岡部やな)に行ってきました。23名の参加を頂きました。

8月30日にはバンテリンドームにて中日VSヤクルト戦観戦、9月10日にはBBQ、10月7日には江南花火鑑賞会などを予定しています。

他には例年の活動も併せて行います。

12月16日土曜日にラ・グランターブル ドゥ キタムラにて年忘れ家族会、5月に親睦家族会、を開催予定です。

祝福は、会員誕生日記念品として、

① スポーツやジムで使いやすいタオルM.Lの2枚組に、話題の入浴剤セット

② 餡麩三喜羅と季節の生菓子、焼菓子 詰合せ
のどちらかから会員に選んで頂き、ご用意致します。7年前の杉浦年度の際に、私は親睦活動委員長担当しており、その際に同好会制度を立ち上げました。今年は更に各同好会の活性化にも取り組んでみようと思えます。

以上で親睦活動委員会の年間事業計画報告を終わらせていただきます。

何卒 皆様方の御指導御鞭撻、御協力の程 御願い申し上げます。



会員増強委員会 委員長 堀尾 庄一君

今年度会員増強は私と、副委員長に岩田静夫君、滝祥夫君、昨年度の会員増強委員長の三輪慎一郎君の4人で委員会を構成します。

私としては60周年に向けて、このクラブの歴史に見合ったメンバー数を目標に会員増強を行おうと考えていますが、この見合った数というのが難しく、名古屋RCや一宮RCのように入会待ちの方がいるというクラブもありますが、それはやはり増やせばよいということではなく、そのクラブなりの適正なメンバー数という考えを持っているということだと思います。

昔、私の父がロータリーに在籍していた頃は江南駅前のUFJの2階をお借りして例会を開催していたのですが、今は探すといってもなかなか適当な会場はありません。

この商工会館のホールで、この形で例会を行うことを考えれば上限が決まりますので、会長方針にある55名への7名の増強が適当なところなのかもしれません。ただこれは非常に難しい数字です。

先日、地区から会員増強に関するアンケートがあり、返事をしたところですが、江南RCは昨年度、お陰様で一人の退会者もありませんでした。

これは例会の配席や声掛け、また親睦委員会の活動や同好会など、例会と例会以外での雰囲気の良いことと、なによりメンバーの仲が良いからだと思います。最近特に他クラブでのめめ事や、他クラブの知っている会員が退会したなどの話を聞くにつれ、江南の良さがあらためて理解できるようになりました。

入会者の人選は会員選考委員会にゆだねますが、今のRIの考え方の流れから言っても以前よりロータリークラブのハードルは下がっておりますので、いろんな方に入会を考えていただきたいと思います。

ぜひ私たちの60周年を盛り上げるためにも全員が会員増強委員会のメンバーのつもりで今年度は動いていただきたいと思います。

どんな情報でも結構ですので、よろしくお願いいたします。



会員選考委員会 委員長 川崎 良一君

会員選考委員会委員長の川崎良一です。

副委員長に浅野安郎さん、委員に松井智義さんという3人の委員会です。

私にとって、初めての委員会、委員長ですので改めて会員選考委員会の立ち位置について調べてみました。

定款によれば、会員身分として「本クラブは、善良さ、高潔さ、リーダーシップを身をもって示し、地域社会でよい評判を受けており、地域社会等で奉仕する意欲のある成人によって構成されるものとする。」とあり、当クラブ細則には、会員選出の方法として、「本クラブの正会員によって推薦された会員候補者の氏名は、書面をもって幹事を通じ理事会に提出されるものとする。」

「理事会は被推薦者が会員資格の条件をすべて満たしていることを確認する。」

「理事会は推薦書の受理後30日以内にその承認または不承認を決定する。」

とあり、会員選考委員会についてはどこにも記載がありません。

実際には、会員選考委員会は会員候補者の資格要件を会員選考上の見地から審査して、その承認、不承認を理事会に報告し、理事会はこの勧告を審査して、その承認または不承認を決定して、幹事を通じて推薦者に報告することとなっております。

会員選考の審査は具体的には以下のような項目の確認になろうかと考えます。

1. 奉仕の精神を学びたい気持ちがあるか。
 2. 地域社会並びに職制上、良い世評を受けているか。
 3. 例会その他の会合に積極的に出席できるか。
 4. 会員として財政的義務を果たせるか
- 会員増強委員会とも連携協力し、委員会メンバーとともに役割をしっかりと果たせるように頑張りますので、年間宜しく願い致します。



ロータリー財団常任委員会 委員長 沢田 昌久君

ロータリー財団常任委員会の沢田です。よろしくお願いいたします。委員長私と松岡君との2名で、今期務めさせていただきます。

さらにロータリー財団委員会は、岩井正彦君を含めて3名で活動いたします。

今回のロータリー財団委員会は

○年次基金は一人150 \$、そしてポリオプラスの基金30 \$を目標としています。

○クラブではベネファクター1000 \$以上1名を目標とします。

○財団からは、今年度から年次基金に寄るものではなく、決められた25万円が支給されます。委員会としても有効に補助金に組み入れられるよう手助けしていきたいと思っておりますので、1年間よろしくお願いいたします。



米山奨学会 委員長 近藤 道麿君

米山奨学会委員長を仰せつかりました近藤です。副委員長に枚本哲一君、メンバーに伊藤鶴吉君、山田猛君と米山奨学会のエキスパートがおみえになります。

江南ロータリークラブは今までずっと奨学生を受け入れていましたが、本年度は受け入れがないので、少し寂しい感じがいたします。

米山記念奨学事業の使命は、奨学生が日本と世界を結ぶ「懸け橋」となり、ロータリー運動のよき理解者となる人材を育成することにあります。ウクライナ情勢、台湾有事等、世界の動向が予測を許さない中、奨学生事業を進めることは世界の平和と共生に大きな役割を果たすと思っております。

米山奨学生は全国で853名、2760地区には51名います。奨学生事業は全国のロータリアンの寄付によって成り立っています。昨年度は13億4579万円集まったそうです。寄付金は普通寄付金と特別寄付金の2種類があります。普通寄付金はクラブが決めた金額を会費として集めて送金しています。江南は4千円です。特別寄付金は個人または法人の寄付で表彰の対象となります。個人は3万円からで、3万円の場合、準米山功労者となります。10万円以上は感謝状が出されて、米山功労者と呼ばれます。10万円の寄付を2回、3回とされると米山功労者マルチプルと呼ばれます。10回寄付をされると100万円になりますが、これより米山功労者メジャードナーと名称が変わります。法人の寄付は5万円からで、50万円以上は感謝状が出ます。法人の寄付も考えられてはでしょうか。

また、クラブ創立記念事業としてクラブより10万円以上の寄付をすると、表彰状と盾がいただけます。来年度の60周年に向けてクラブとして寄付を検討されてはいかがでしょうか。

2018年に米山奨学会は公益団体認定を受けました。そこで個人では500万円以上、法人では1千万円以上寄付すると紺綬褒章がいただけるということです。分納でもよろしいようで、地区の米山奨学委員の2名の方が分納で寄付をしているとのことでした。因みに交通違反をするとダメだそうです。

寄付の話ばかりして少し嫌気がさしたかもしれませんが、寄付で成り立つ奨学生事業ですので、よろしくご協力をお願いいたします。



会報委員会 委員長 山崎 博征君

江南ロータリークラブ最年少の山崎博征です。まだまだ若輩で至らぬ点が多いと思いますが、どうぞよろしくお願いいたします。

昨年度の北畑委員長を見て、会報の委員長が務まるのか不安ではありますが、毎週皆さまのお手元に届くことをしっかりと意識し、例会の内容が伝わる会報を委員会メンバー丸となり作成してまいります。

本年度の委員会メンバーは、副委員長に駒田さん、委員に尾関さん、田岡さん、内田さんです。

皆さまお気づきになられたかと思っております。当委員会はみんな若いです。全員現役バリバリの40代です。あっ…内田さんはハートが40代です。ゴルフもハーフ40台で廻ってきます。

本年度の会報も例年通り、例会時に配布する会報を作成する事に変わりはありません。しかしメンバーが若いという特徴を生かし、本年度のカラーを付けたいと思っております。

1点目は、江南 RC の LINE グループを活用させて頂きたいと思っております。こちらのグループ内に会報アルバムを作成します。このアルバムに、ぜひ皆さまが参加された同好会や地区での活躍の写真をアップロードしていただきたいと思います。そうすることで、皆様の例会以外でのご活躍する姿を会報にてご紹介していきたいと思っております。

2点目は、江南 RC 会報 YouTube チャンネルです。正直私自身 YouTube は得意な方ではありませんが、昨年の北畑委員長が会報に前回の卓話動画を QR コードにし、掲載していただきました。しかし、視聴者数が・・・3人とか4人とかです。よくよくチャンネル登録者数を見てみると・・・21人しか登録者がいませんでした・・・ぜひとも皆様にチャンネル登録をお願いします。

地区研修会にて会報もデジタル化を・・・というお話もありました。本年度は少しずつでもデジタル機能を活用した会報を推し進めていければと思っております。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

本日の食事



寄付贈呈式



江南市社会福祉協議会にて「江南キッチンカー子ども食堂」へお米 100 キロを寄付しました。

寄付贈呈式



江南市役所に布袋駅東複合公共施設 toko+toko の新設祝い贈呈式に伺った際の写真です。

寄贈品はプロジェクターなどの会議用設備一式です。



7/21の中日新聞の尾張版に掲載されました。

会報掲示板



My ROTARYの登録はこちら
 ※初めての方は
 アカウントを作成してください。
 ※アカウントがある方は
 ログインしてご覧ください。



ROTARY 2760
 アプリダウンロードはこちら

写真等ございましたら会報までお知らせください。
 (担当 駒田 洋平)